



Yaita
 特集 やいたのまんなかには^{ai}愛がある

こどもまんなか社会の実現に向けて、4月に「こども家庭庁」が発足しました。こども家庭庁では、子どもを産みやすい、子育てをしやすい環境を整えるため、国や社会のかたちを「こどもまんなか」に変えていきます。

この趣旨に賛同した本市では6月、県内で初めて、「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました。本市は、妊婦一人当たりには占める保健師の数が、県内NO.1『保健師が充実したまち』。これらのことから、フィンランド発祥の子育て支援システム「ネウボラ」をヒントに、パパやママ、子どもに寄り添う本市独自の子育て支援事業として「こどもまんなかプロジェクト」を進めています。

どんどん加速していく少子高齢化。未来の矢板市を担う子どもたちが、健やかに成長していくために、市が、地域が、そして一人ひとりが、どのように子育てに関わっていくべきか、改めて考えることが求められているようです。

今号では、本市の「子育て支援の今」を紹介するとともに、育児を支える地域の人たちの想いに触れ、「こどもまんなか社会」での子育てについて考えます。

ネウボラって何？

フィンランド語で「助言の場」を意味するネウボラは、フィンランド発祥の子育て支援システム。子育て家庭を対象に健診・相談はもちろん、妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援を行う場として、国民に広く支持されています。

「子育ては社会で行うもの」子育てしやすい国として世界的に高い評価を受けているフィンランドでは、このような共通認識が根付いています。子育て支援の在り方を見直す中で、今、「ネウボラ」が注目を浴びています。

Yaita vol.1162 広報やいた 2023年10月号

CONTENTS 目次

- 2 特集 やいたのまんなかには愛がある
- 12 地域おこし通信・ヤイタゴハン ほか
- 14 子育てひろば・図書館へGO！ ほか
- 16 今月のニュース&トピックス
- 18 はつらつ通信
- 19 市からのお知らせ
- 32 クイズ&アンケート・編集後記

COVER 表紙の写真

表紙は、イケボス池田キッズハウスで行われた未来館まつりでのひとコマです。1階こどもの広場で楽しそうに遊ぶ親子。お子さんの無邪気な笑顔が印象的でした。

この日はたくさん子どもたちが集まり、笑顔と笑い声があふれました。



POPULATION 人口(9月1日現在)

30,683人 ()	出生	12人
男 15,262人 (△ 9)	死亡	31人
女 15,421人 (13)	転入	85人
13,381世帯 (17)	転出	62人
()内は8月1日との比較	※住民基本台帳をもとに算出	
△は減		

こどもまんなかプロジェクト 矢板版 ネウボラ

妊娠・出産・育児・就学まで、一家族を同じ保健師が担当したり、行政・地域・医療が連携したり、地域みんなで切れ目ないサポートをしている本事業の一部を紹介します！



妊娠・出産期 就学前期 就学期 どの時期でも利用可
支援内容は、利用する時期に合わせて色分けしています。



子育て支援チャンネルふあみ♡はぐ
矢板市公式 Youtube チャンネルで離乳食の進め方や親子でできるふれあい運動遊びなど、子育て動画が視聴できます。



動画なのでわかりやすい。「間違っていなかった！」と自信がついた



育児教室

助産師によるベビーマッサージ教室、栄養士による離乳食教室など、同じ月齢の子どもを持つママと一緒に育児が学べます。



初めての授乳でしたが、話をじっくり聞いてもらえて、精神的に楽になりました



授乳(母乳)相談

授乳量のこと、断乳・卒乳のこと、ミルクと離乳食のバランスなど、丁寧に答えします。

先輩ママ

先輩ママの話が聞けたし、心と体がリフレッシュできてよかった



先輩ママ

マタニティエクササイズ教室

妊娠中でも安心して楽しめる運動教室。出産・産後に必要な筋肉を鍛えながら、妊娠中の生活や出産・育児に向けた相談もできます。

妊婦健診

おなかの赤ちゃん和妈妈の健康を医師や助産師が定期的に見守るため、医療機関で使用妊婦健康診査受診票を交付します。

出産

赤ちゃん訪問

保健師が、赤ちゃんが産まれたすべての家庭に訪問し、家庭での子育ての様子や心配ごとをお聞きします。

昔の常識とは変わったこともあるんだね



おじいちゃん・おばあちゃん

祖父母手帳

昔と今の子育ての違いをわかりやすく解説した手帳を配布しています。

産後ケア

産後の体の回復に心配があったり、慣れない育児生活に不安があったりする場合、赤ちゃんと一緒に宿泊または日帰りで医療機関を利用し、相談やリフレッシュができます。

就学前期



先輩ママ

一人ではなかなかやらないトレーニングでしたが、楽しく汗をかけました。子育ての話共有するママ友もできた

Yaita のママトレ(産後の体操教室)

出産後のママは、妊娠や出産によって筋肉や皮膚が緩んだ状態です。身体を動かすことで、骨盤などの回復を促しましょう。(託児付)

発達相談・ことばの相談

心理相談員や言語聴覚士がお子さんの発達について相談をお受けします。

乳幼児健康診査・相談

お子さんの発育状況・育児について保健師に相談できます。「離乳食がうまく進まない」「体重が増えない」など、ちょっとした心配ごとでもOKです。



長峰公園

広い芝生広場や大型遊具など子どもともしっかり遊べる公園です。



イケボス池田キッズハウス(子ども未来館)

大きな室内遊具・赤ちゃん向けコーナーなど遊びが充実。毎月楽しいイベントも開催中。スタッフに育児相談もできます。



小学生



家ではできない活動や季節のイベントを楽しむことができました。園の雰囲気も知れていいですね

先輩ママ

保育園(所)認定子ども園 子育てイベント

未就園児のお子さんと保護者の方を対象にイベントとサロンを開催。一緒に楽しく遊びながら、子育て仲間の輪を広げましょう。



図書館

小さなお子さん向けのおはなし会を実施しています。

先輩パパ

家にはない大型絵本での読み聞かせに子どもたちは大興奮。楽しい時間でした

制服バンク

不要になった制服や体操着を集めて、必要とする家庭に譲渡します。

中学生



現役中学生

いつも使っている教室なので、家よりも集中できて、勉強がはかどっています

中学生放課後学習塾

中学3年生を対象とした無料の公営塾。週に1・2回民間の塾講師から数学と英語を学べます。



こどもみらいそうだんしつ

支援が必要なお子さんに対し、イケボス池田キッズハウスで、総合相談窓口を開設。発達状況・学校生活・進学など、ニーズに合わせた相談にそれぞれの専門スタッフが対応します。

子どもに合った方をコーディネートしてくれるので、安心して預けられますよ

先輩ママ

ファミリーサポートセンター

支援をしてほしい人と手助けができる人がお互いに助け合う子育て支援システム。お子さんの送迎や一時預かりなど、利用方法はさまざまです。

児童館

地域の健全な児童育成のため、お子さんの遊びや指導・各種行事を行います。児童に関する会議や集会でも利用できます。

学校支援ボランティア

子どもたちの学習のために、学校の教育活動や環境整備などを支援する地域の方によるボランティア活動です。



参加者

小学校で調理実習のお手伝いをしました。子どもたちと過ごす時間で、元気をもらってます

妊娠

今、不安なこと、 悩んでいることはありませんか？

たくさんの「めぐり愛」が重なり

たどり着いた矢板市だから

「地元だから」、「結婚を機に」、「勤務先が近いから」——。皆さんが矢板市に住む理由はさまざまです。たくさんの「巡りあい」が重なりたどり着いた矢板市だから。「ココに住んでよかった」そう言ってもらえる場所でありたい——。

ママ、一人でがんばりすぎないで

だんだん変わりつつはあるものの、日本での育児はまだまだ母親が担い、育児の悩みや不安などを気軽に相談できる場所が少ないのが現実です。ママ、大丈夫。一人でがんばりすぎないで。矢板市にはネウボラ保健師がいます。「肩の力をぬいて妊娠・出産・育児という、本来、楽しく希望に満ちた時間を楽しんでほしい」矢板版ネウボラには、そんな思いが込められています。

ネウボラの特徴は、一家族を同じ保健師が継続的に担当するため、お互いの信頼関係を築きやすいこと。そのため家族は、健康に関すること以外にも子どもの成長や子育て、家庭の問題など、そのときどきの不安や悩みなどを何でも気軽に相談することができます。経済面も含めた生活状況についても対話を重ねるため、必要に応じて適切な支援機関へスムーズにつなげることが可能です。

「子育てで困ったり、不安に思ったりすることがあった時、真っ先に頼られる存在でありたい」そう話すのは子ども課の担当保健師です。妊婦面談や赤ちゃん訪問など、妊娠期から幼児期の子どもと保護者を対象とした母子保健事業を担当しています。

同じ保健師が、健診や相談で対話を重ねることで、心を寄り添える関係を築き、抱えている不安が小さくうちに一緒に考えたり、悩みの本質的な部分をとりこ

ぼすことなく支えたりすることができます。このことは貧困や虐待、産後うつなどの問題の早期発見、予防、早期支援にもつながります。また、母子だけでなくパートナーやきょうだいを含めた包括的な支援も受けられるため、家族全体で子育てをする意識が芽生え、ママの負担が減ることもネウボラのメリットです。

子どもたちの成長を共に喜びたい

保健師による育児サポートの充実を図るため、今年度から「マタニティエクササイズ教室」や「授乳相談」、「Yaitaのママトレ（産後の体操教室）」、「親子ふれあい遊び教室」などの新規事業を立ち上げました。これらは産前・産後のママたちの体のケアをするだけでなく、「もっと話しやすい環境でママたちの声を聞きたい」という保健師の想いから、考案した事業です。矢板版ネウボラを定着させていくために、ママの意見を取り入れ、市の実状に合わせて楽しい事業にしていきます。

子育ては、不安や悩みが尽きないもの。家族のほかに、なんでも相談できる人が身近にいれば心強いものです。「子どもたちの成長を一緒に喜ぶ存在でいたい」矢板市の保健師は、そんな想いを胸に、今日も家族の皆さんと対話を重ねます。

パパママに聞いた ネウボラ 体験ストーリー



塩崎 光司さん・晶子さん
桃子ちゃん（1歳10カ月）

私たちの強い味方

初めての子育てで不安もありましたが、親身になって相談に乗ってもらい「一人じゃない」と感じました。矢板市は健診・相談・育児教室など、保健師さんと接する機会が多く設けられているので、すぐに相談ができて、悩みをため込むことなく育児ができています。間もなく2人目の出産を迎え、違った悩みも出てくると思いますが、保健師さんという強い味方がいるので安心です。



家族のようにあったかい存在

夫の仕事の関係で矢板市に住み、子育てをしています。実家も県外で、育児の相談をするのは夫やママ友がほとんど。それでも不安が消えない時には、保健師さんを頼って相談に訪れたりしています。子どもだけではなく、私や夫の体調やメンタルまで気にかけてくれること、健診で話を聞いているとき子どもの相手を引き受けてくれること、保健師さんを通してあったかいまぢだなど感じています。

相馬 美希さん・
希彩ちゃん（2歳5カ月）
叶蒼くん（4カ月）



兼崎 弘章さん・まりえさん
ひまりちゃん・陽大くん（4カ月）



夫の次に欠かせないパートナー

2歳の長男の時、食事・健康・歯・イヤイヤ期などのさまざまな相談をさせてもらっていた保健師さんに、また今回関わってもらえるのはとても心強いです。赤ちゃん訪問から3カ月健診まで、期間が空いてしまうことが心配で相談したところ、「人が集まるところに来るのはまだ不安でしょうから」とわざわざ体重を測りに自宅まで来てくれたこと、本当に助かりました。双子なので夫がいても毎日慌ただしく過ごしています。これからも頼りにしています。



でかけよう。地域でみんなが待ってるよ！

子どもは地域の宝。一人で悩まなくても大丈夫。ご近所の先輩パパママが、中学生や高校生が、たくさんの大人たちが、さまざまな活動を通じて、子どもたちの笑い声を待っています。さあ、子どもと一緒に地域とつながろう！



子どももおとなも、地域も行政も、

【やいたのまんなかにかども集合！未来館まつり】

やいたのまんなかで和気あいあい愛

「やいたのまんなかにかども集合！未来館まつり」、「縁日開催！みんなあつまれ」、「矢板子ども夏祭り」——。地域の絆でたくさんのボランティアが集い開催された各イベントでは、パパママ、子どもたちのたくさんの笑顔があふれました。やいたのまんなかで愛が集まり、たくさんの『楽しいひととき』を創り出しました。



『縁日開催！みんなあつまれ』
笑輪の会代表
齋藤 正弘さん



『矢板子ども夏祭り』
広報担当
千野根 友和さん

子どもたちの笑顔でまちを明るく

「行政の手は一切借りず、有志で無料の縁日をやろう！」そんな仲間の一語がきっかけでした。気づけば協力してくれる仲間がどんどん増えて、当日もたくさんの方が遊びに来てくれました。自分たちが子どもの頃楽しかった「あの夏の思い出」を子どもたちにも味わってほしかったので、開催して本当に良かったです。こういう行事を、子どもたちが大人になった時には、次の子どもたちに還元して、また次の世代へ循環していければ最高ですね。

【縁日開催！みんなあつまれ】



地域も親も『無理なく楽しんで』

やぐらを組んで音楽を流したり、花火を打ち上げたり、「ふるさとの夏祭り」を味わってもらいたくて開催しました。「無理なく楽しんで」それが今回のイベントの約束事でした。この夏祭りで、子どもたちの心に、ふるさとを感じる思い出を刻むことができたいと思います。無理のないスローペースで今後も毎年続けて開催していきます。矢板を出た子どもたちが帰省した時、郷土愛を再確認できる温かいイベントとして定着できればと考えています。

【矢板子ども夏祭り】



本を通じてかかわり愛

本との出会いの架け橋に



おはなしポットの会は、2000年11月から「楽しくて良質な絵本を子どもたちに届けたい」その一心で読み聞かせ活動をしています。定期的に小学校や図書館で「おはなし会」を開催し、子どもたちにさまざまな本の世界を紹介してきました。子どもにとって読書は『宝さがし』。子どもたちが、心を潤す自分だけの一冊に巡り合えるよう、おはなしポットの会ではこれからも心を尽くして活動が続けていきます。

宝物の一冊に出会ってほしい



おはなしポットの会代表
井田 紫衣さん

困ったときはお互いさま

学用品をお譲りください

主に不要になった制服や体操着、教材などを集めています。多少のシミや汚れがあっても大丈夫です。上着・スカート・ズボンそれぞれ単品でも結構です。回収は当法人が運営する「風の家」までお持ちください。



風車HP

問い合わせ/
NPO 法人風車「風の家」
☎080(1073)2269



真心を紡いだ糸でありたい
「地域の子どもたちを包むネットがあった、そこにほころびがあるのなら、私たちはそこを繕う優しい糸でありたい」そんな思いで活動をはじめ、制服バンクにはたくさんの問い合わせをいただいています。行政でも民間でも手の届かない場所があります。子どもたちを思うまじりの人の気持ちをおねて、そこをそっと覆ってあげられたら。子どもたちの笑顔を活気に、私たちは活動しています。

ささえ愛の力、ファミリーサポートセンター



依頼・提供会員募集中！

地域のささえ愛で、子育て支援しませんか。皆さんの協力をお待ちしています。問い合わせ/
矢板市社会福祉協議会
☎(44)3000
詳しくはこちら

「私でお役に立てるなら」
子育ても一段落して、自分の時間が取れるようになりました。共働きで子育てをする若い世帯、家族プラス1のサポートがほしい世帯、そんな方たちに、「私でお役に立てるなら」とファミサポの提供会員に登録しました。
小さい子どもとふれあう機会が減ってしまったので、笑顔や笑い声でこちらが元気をもらっています。依頼会員の子どもたちとの時間は、私の楽しみにもなっています。



提供会員
渡邊 美佐さん



やっぱり、矢板って

子どもは一人ひとりみんな違うから、
パパママの心配や悩み、
喜びや幸せもまたそれぞれです。

何よりも大切な支援は、その想いに
共感してくれる人がそばにいること。
ココが、安心できる場所であること。

子どもが、
「矢板に生まれてよかった」
「ふるさと矢板が好き」

パパママが、
「第2子、第3子を産みたい」
「矢板で子育てしてよかった」

そんな風に言ってもらえるまちを
みんなで一緒につくりませんか。
そして、子どもたちの元気な声と
パパママの笑顔を温かく見守っていきましょう。

あったかい

巡りあった矢板市の愛。
地域みんなのたすけ愛、ささえ愛、
かかわり愛、和気あい愛。
たくさんの愛を、やいたのまんやかに、
やいたの子どもたちに注いでいきましょう。

矢板の^{こども}未来を照らすために —— 。

— まもなく完成! —



こどもまんなか応援ブック

妊娠期から就学期までの子育て関連情報をまとめた総合案内ガイドブック。特集で紹介しきれなかった矢板市の「こどもまんなかプロジェクト」がギュッと詰まった一冊です。転入・婚姻・妊娠届提出時など、子育て世代の方を中心に配布します。

